



Market Eyes No.213

新興国債券の高い利回りに注目

大和投資信託

■ 米国利上げ継続も新興国債券は堅調

- 米国では6月13-14日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において、市場の予想どおり0.25%の利上げを決定した。今後は、年内の再利上げとFRB（米国連邦準備制度理事会）のバランスシートの縮小が焦点となる。
- 米国が金融引き締めに進めると、米国内へのマネー回帰により新興国から資本が流出することが懸念されていた。しかし、2015年12月より米国が利上げを継続する中、新興国債券は堅調な推移となっている。【図表1】

■ 新興国の経済成長は回復基調へ

- 2010年以降、鈍化傾向となっていた新興国の経済成長率は2016年に底打ちし、2017年以降は回復基調と予想されている。【図表2】
- 今後、先進国と新興国の成長率格差は広がっていくとの見通しから、先進国の緩和マネーが一方向的に米ドルに向かわず、新興国への投資にとどまることも想定される。

■ 新興国通貨の安定性は向上

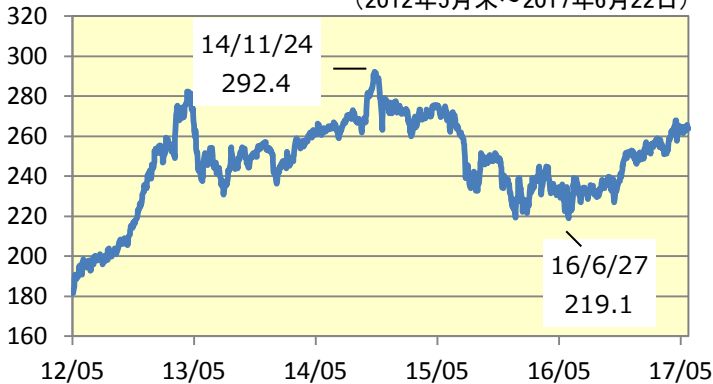
- 新興国は低位な債務水準を維持しており、日米と比較しても財務状況は健全な状態にある。【図表3】
- また、過去の経験則を踏まえ、IMF（国際通貨基金）が通貨危機防止への新協定を導入する動きもでている。

■ 魅力的な利回り水準

- マイナス金利であるわが国をはじめ、先進国の多くで低金利が継続するなか、新興国の現地通貨建て債券の利回りは、2013年5月のバーナンキ・ショックによって上昇して以降、ブラジルのように金利が低下した国もあるが、概ね相対的に高い水準となっている。【図表4】
- 低い利回りで運用をしている機関投資家や個人投資家にとって、**新興国の金利は相対的に魅力的な水準にあり、投資環境も明るくなっていることから、今後さらに注目されると考えられる。**

【図表1】 新興国債券の推移

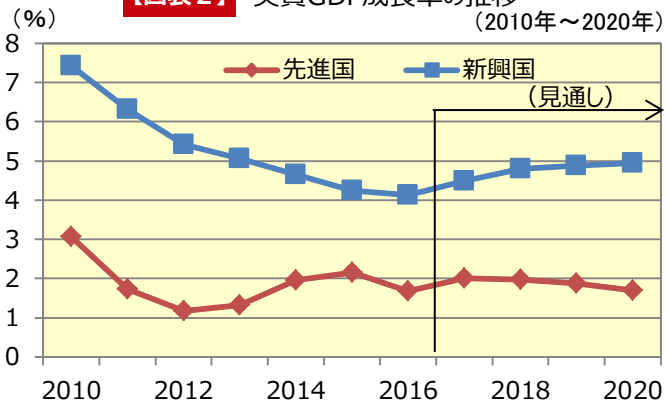
(2012年5月末～2017年6月22日)



※新興国債券：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）。当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属します。

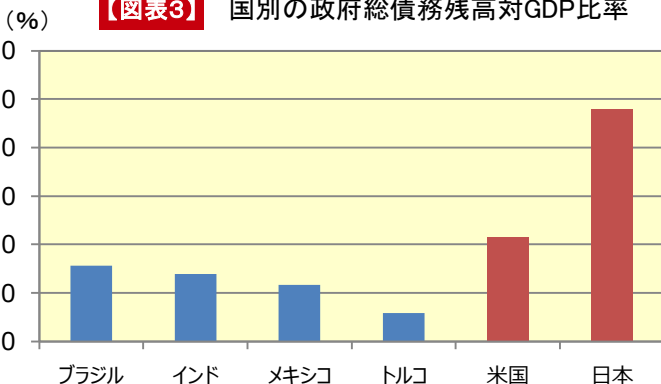
【図表2】 実質GDP成長率の推移

(2010年～2020年)



※IMF「World Economic Outlook」(Database April 2017)

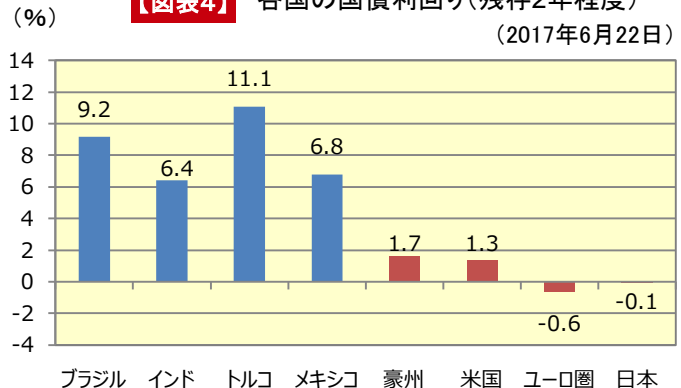
【図表3】 国別の政府総債務残高対GDP比率



※IMF「World Economic Outlook」(Database April 2017)
ブラジル、インド、メキシコは2016年、トルコ、米国、日本は2015年

【図表4】 各国の国債利回り(残存2年程度)

(2017年6月22日)



(出所) ブルームバーグ、IMF、各種資料を基に大和投資信託作成

投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第 37 条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お客さまにご負担いただく費用

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	料率の上限は、 3.24% (税込) です。
換金手数料	料率の上限は、 1.296% (税込) です。
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% です。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用 (信託報酬)	料率の上限は、 年率2.5528% (税込) です。
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ ファンドにより異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※ 詳細につきましては、「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- ◆当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書 (交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- ◆当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。